

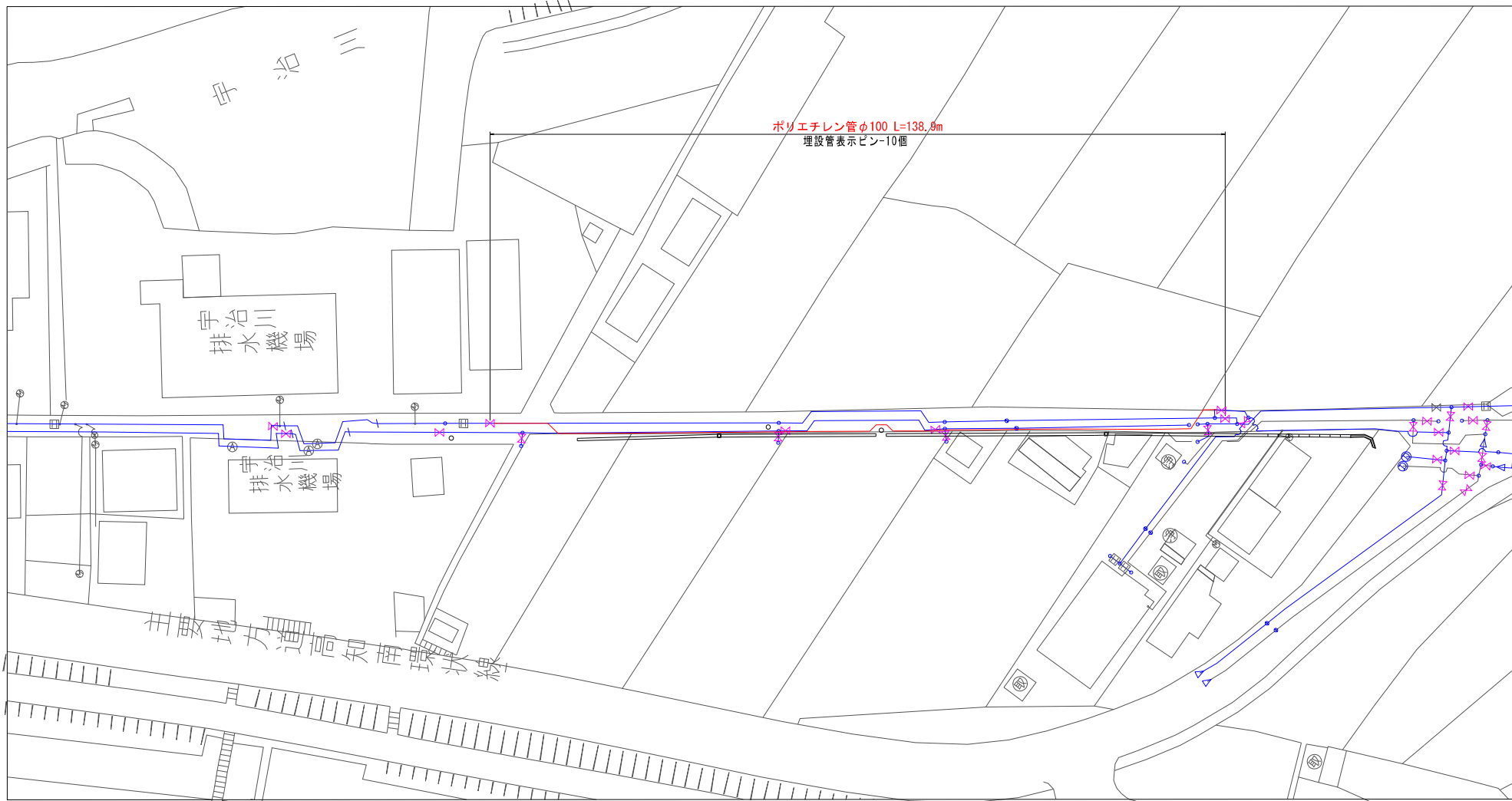


平面図
S=1:500

- 水道管(新設)
- 水道管(既設)
- 水道管(計画)
- NTT(既設)
- 雨水管(既設)
- ガス管(既設)
- 電力線(既設)
- 情報ボックス(既設)
- 用地境界線

配管詳細図

※GX形DCIP直管は、粉体塗装のS種管を使用すること。
※GX形DCIP管の切口加工においては、切管端面部を専用塗料で補修すること。
※GX形DCIP直管・異形管類はポリエチレンスリーブで被覆すること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明ステープを布設すること。
※既設管の管種・口径・深度等は推定のため、試掘を行い確認すること。
※水路等の下越しが困難な場合は、監督職員と協議すること。
※直線部は20m毎に1箇所埋設管表示ピンを設置すること。
※水平曲り・分岐部は異形管部に1箇所埋設管表示ピンを設置すること。

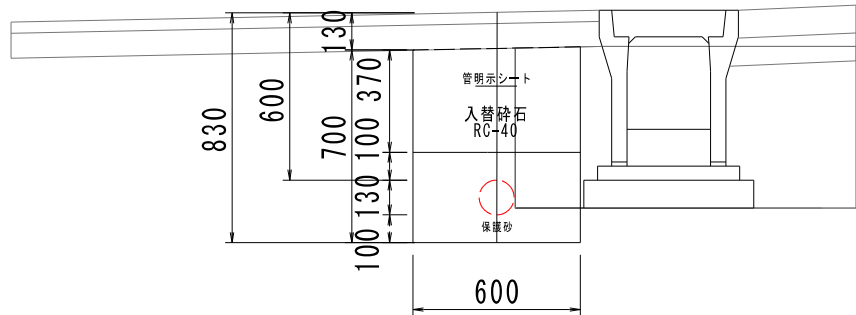
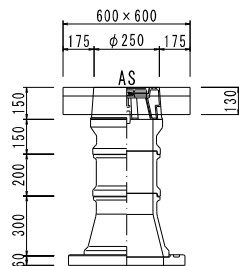


ボックス蓋撤去図
S=1:20

配水管掘削断面図

※舗装構成が現状と異なる場合、発注者と協議すること。

既設仕切弁ボックス撤去



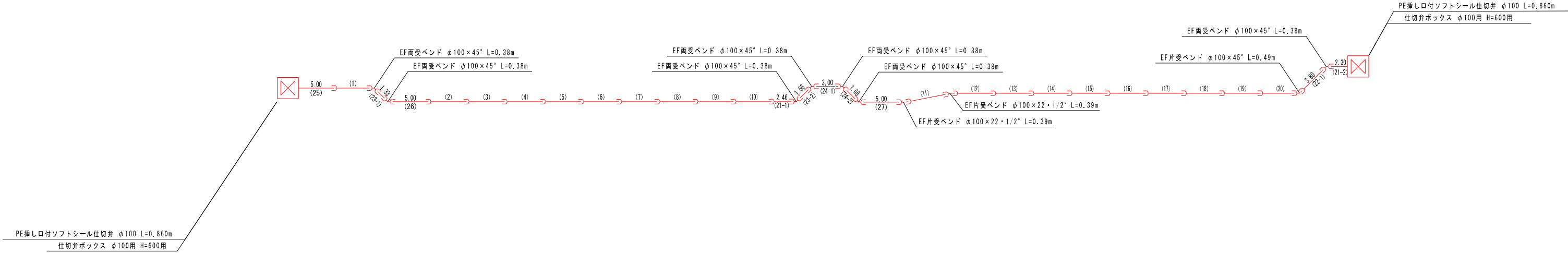
工事名	8上水第23号 令和8年度 菅竹地区配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	いの町役場 上下水道課		

配管詳細図

※管種はHPPE（水道配水用ポリエチレン管）を使用すること。
※継手部はEF（電気融着）継手とすること。
※メカ形異形管類は、粉体塗装で離脱防止金具付とすること。
※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。
※鑄鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。
※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。
※既設管の管種・口径・深度等は推定のため、試掘を行い確認すること。
※NTTケーブル付近の掘削は事前に連絡・確認すること。

口径	許容曲げ半径
φ50	5.0m
φ75	7.0m
φ100	9.5m
φ150	13.5m
φ200	19.0m

管割図
S=NON



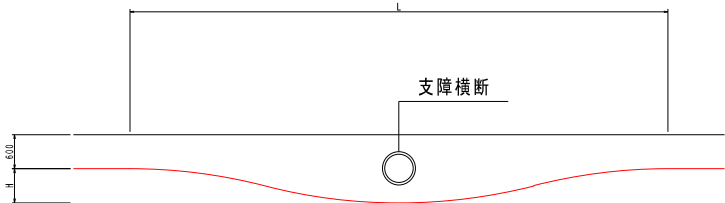
ポリエチレン管φ100：直管L=5.000m

ポリエチレン管調書		※▽は切断位置					
番号	口径	切管組み合わせ	有効長	残管長	計	切断	管種
(1～20)	100	5.000 (1～20)	5.00	0.00	5.00	0	1種 ﾌﾞﾙｰ
(21)	100	2.46 (21-1) 2.30 (21-2) 0.24	4.76	0.24	5.00	2	1種 ﾌﾞﾙｰ
(22)	100	3.80 (22-1) 1.20	3.80	1.20	5.00	1	1種 ﾌﾞﾙｰ
(23)	100	1.33 (23-1) 1.66 (23-2) 2.01	2.99	2.01	5.00	2	1種 ﾌﾞﾙｰ
(24)	100	3.00 (24-1) 1.66 (24-2) 0.34	4.66	0.34	5.00	2	1種 ﾌﾞﾙｰ
(25～27)	100	5.000 (25～27)	5.00	0.00	5.00	0	1種 ﾌﾞﾙｰ

伏せ越し標準図

S=NON

※できる限り曲管を使用せずに許容曲げ半径の範囲内で布設すること。



工事名	8上水第23号 令和8年度 音竹地区配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図		
作成年月日			
縮尺	1：100	図面番号	2 / 2
会社名			
事業者名	いの町役場 上下水道課		